

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	40114
----------	-------

1. 開設大学	福山大学 工学部	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	暮らしと物づくり		
	学問分野	番 号	31 名 称 工学 (機械、電気通信、建築、情報)
3. 担当教員	山田 明 他工学部准教授 6 名		
4. 開講学期	後期 週 1 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 2 年 9 月 24 日 (木) ~ 令和 3 年 1 月 21 日 (木) 16 時 20 分 ~ 17 時 50 分		
個別開講日	1 回目 9/24	2 回目 10/1	3 回目 10/8
	4 回目 10/15	5 回目 10/22	6 回目 10/29
	7 回目 11/5	8 回目 11/12	9 回目 11/19
	10 回目 11/26	11 回目 12/3	12 回目 12/10
	13 回目 12/17	14 回目 1/7	15 回目 1/21
6. 募集定員	20 人 (総授業定員 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>皆さんが当たり前のように手にし、扱う様々な「物」。使う上でその中身を知る必要はない。ましてや自分で作るのは面倒至極である。でも、その「物」の意外な秘密がわかり、それを自分のアイデアを活かして作れたら面白くはないだろうか。「物」は道理を経て形作られ、そして、その中には色々な工夫が盛り込まれている。それを知ってもらいたい。</p> <p>授業予定</p> <p>1. 建築の構造と設計 (山田) 2. ロボットのはなし (伍賀) 3. ロボットの作り方 (伍賀) 4. ロボットの動かし方 (伍賀) 5. 建築と環境 (伊澤) 6. 暮らしの発展に伴う事故と機械技術の発展 (1) (加藤) 7. 暮らしの発展に伴う事故と機械技術の発展 (2) (加藤) 8. 紙トンボを作って空気力学を学ぶ (中村) 9. 地震の震源分布模型を作って地震のメカニズムや防災技術を学ぶ (中村) 10. 首振りドラゴンを作って錯視を体験し物づくりへの応用を学ぶ (中村) 11. 人々の暮らしに必要なインフラの技術を学ぶ (中村) 12. 情報整理と可視化 (1) (中道) 13. 情報整理と可視化 (2) (中道) 14. 人体の寸法と身の回りにある物の寸法の関係について学修する (宮地) 15. 日々の生活に使用する製品の技術を学ぶ (中村)</p>		
8. 受講料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		○交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		○受け入れない
	単位数	単位	
	受入学年	高校 年生以上 (二次募集時 年生)	
	試験・評価		
	特記事項		
12. 開講条件※1 ない	① 最少開講人数 (人) ② 不開講通知日 (7月10日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月11日(土)以降の開講科目は6月末まで)		
13. その他特記事項	受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと 初回 (9月24日) の集合場所: 本学 20号館 2階 2021 教室		
14. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ →福山大学→アクセス→スクールバス運行表 (通常期)		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。